

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成30年度取組結果】

団体名	北九州エアターミナル 株式会社
-----	-----------------

所管課	港湾空港局 空港企画課
-----	-------------

<p>団体に対するミッション</p> <p>市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取組を進め、安定的な財務状況を維持し、公共性の高い空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供する。 また、路線の拡大等、航空会社の動向に合わせ、的確な施設の増強や改造を行い、市等との連携による路線誘致に繋げる。 さらには、空港ターミナルビル内を活用し、イベントや展示を行い、地域のにぎわいの場としての役割も果たしていく。</p>
--

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>今後も、空港ターミナルビルの管理運営の役割を担う経営主体として、長期的に健全な経営を維持する必要があるため、本市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取組を進める。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に 目指す状態	新規就航路線を誘致し、貨物取扱量を増加することで、利便性の高い空の玄関口としての機能向上を図るとともに、にぎわいの創出により、空港の更なる利用促進を目指す。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H28 実績	H29 実績	H30 目標 実績		R1 目標	R2 目標	R3 目標	R4 目標
就航路線（国内）	2路線	3路線	3路線	3路線	前年度の実績 を維持			
就航路線（国際）	3路線	3路線	6路線	6路線				
貨物取扱量	8,451 トン	4,880 トン	26,000 トン	8,830 トン				
空港入館者数	182万人	207万人	220万人	231万人				

ミッションの遂行状況の評価（平成30年度）

<p>団体における評価</p> <p>新規路線誘致等、利用者数増加に向けた取り組みを進めた。また、国際線定期路線の増加に伴った施設使用料収入などの増収により、安定的な財務状況を維持した。 ターミナルビル大規模改修工事やX線検査機器の更新などにより、安全で快適な環境を航空旅客と航空会社に提供できるよう努めた。加えて、ターミナルビル内を活用したイベントなどを実施することで、地域の賑わいづくりに寄与した。この結果、就航路線数、旅客チャーター便数（国際）、空港入館者数などにおいて目標値を達成した。</p>	<p>市の評価</p> <p>家賃収入や設備使用料収入の増加により、健全な経営を維持することができた。ターミナルビル大規模改修工事だけでなく、航空会社本社棟・事務所棟改変工事等により、航空会社・旅客の双方に快適な環境を提供することに貢献している。 また、学校からの社会科見学を受け入れや出前航空教室などの実施により、将来の利用者増につながる活動を行った他、継続的にイベントや展示会などを実施し、地域の賑わいづくりに貢献している。これらの取り組みが空港入館者数増や、利用者数実績の維持・拡大につながっていると考えられる。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容（案）</p> <p>既存路線の維持・拡大、新規路線の誘致を目指す。航空貨物については、随時地上支援機材の整備・更新を行う。併せて、滑走路3千メートルへの延伸等の実現に向け、国への要望活動を行う。 また、アンケート調査などCS活動の実施により空港利用者の満足度向上を図る。</p>	<p>団体への改善指導内容（案）</p> <p>引き続き市との連携体制を強化し、既存路線の維持拡大、新規路線の誘致、空港利用者数の増加に向けた取り組みを指導していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	－
<p>空港ターミナルビルの管理運営を担う経営主体として、市や各団体との連携による路線誘致活動や集客・PR活動等、利用者数の増加に向けた取り組みを行うとともに、安定的な財務状況の維持に努めた。</p>	